

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回、避難訓練を実施しているが、いざという時に慌てずに確実な避難誘導をする為に、自主訓練の回数を増やすべきである。	月1回、避難訓練を実施し、利用者がどの様に行動するのかを把握し、職員が連携して、その動きに対応出来る様にする。	月1回の茶道の時に隣の建物へ移動する時間を利用して、昼間想定と夜間想定の実施訓練を実施する。職員は誘導係と外での待機係、点呼係等の役割ごとに行動する事と安全に配慮した臨機応変な動きをしていく。	12ヶ月
2	40・45	食事や水分補給また入浴の際に職員の一方面的支援の提供になっている事がある。	利用者様とその都度、自己選択出来る様に支援していく。	食事は栄養課と相談しながら定期的に選択食を設けていく。水分補給の時間は「何が飲みたいか？」尋ねる機会を作り、対応出来る様にしていく。入浴はその日に、入浴するかしないか自己決定出来る様にしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。